

令和3年1月14日

保護者様

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校
校長 白神 敬祐

新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底について（お願い）

平素より本校教育活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、既に報道等でご承知のとおり、県立高校生を含む友人間での家での会食の場面で集団感染（クラスター）が発生しました。

本県では、令和2年12月21日に「岡山県医療非常事態宣言」が出されており、高校生の安易な行動が、医療体制の更なるひっ迫に繋がることも考えられることから、今後、ますます慎重な行動が求められます。

つきましては、次の内容について、学校として生徒へ指導していますが、各ご家庭におかれましても、適切に対応していただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症については、日々状況が変化しているため、今後の状況によっては対応をさらに見直す場合があることを申し添えます。

記

1 長時間、大人数での飲食について

令和3年1月8日に、県新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、従前からの基本的な感染対策の徹底や、感染拡大を防止する「新しい生活様式」の実践の徹底の他、長時間、大人数での飲食を控えること等の要請を行っています。つきましては、お子様方についても、放課後や休日に、友人宅や店舗等において、長時間、大人数で飲食を行うといったことがないように、一人一人が主体的に感染症対策を徹底し、感染防止のための行動が実践できるようご指導をお願いします。

2 マスクについて

新型コロナウイルス感染症は、発症前からウイルスを排出し始めている可能性があるといわれています。また、若い世代では、感染しても軽症あるいは、症状が出ないケースも見受けられるため、本人が感染に気付かないこともあります。感染経路の一つである飛沫感染を防止するため、症状の有無に関わらず、常にマスクを着用する必要があります。

(1) 正しくマスクを着用する

マスクは、自身の飛沫の拡散を防止する以外にも、①他人からの飛沫を防ぐ、②直接顔に触れることを防ぐ等、自らを守る効果もあります。マスクをかけていても鼻が出ていたり、あごに引っかけているだけでは効果は期待できません。

(2) 校内でマスクを外す場面

昼食時や、身体活動を伴う活動等の場面では、マスクを外すこともありますが、昼食時の会話は、特に感染リスクが高い場面の一つです。マスクを外す場合は、会話をしないこと、会話をする場合はマスクを着用することを徹底してください。

部活動等でマスクを外す際も、必ず身体的距離を確保してください。身体的距離が確保できない場合や向かい合って活動する場合等は、必ずマスクを着用してください。

(3) 他の感染症対策との併用

マスクを着用していても、全ての感染リスクを排除できるわけではありません。マスク着用とあわせて、ソーシャルディスタンスの確保、手指衛生、換気等を行ってください。